



八中だより



第7号

令和7年7月1日

府中市立

府中第八中学校

**熱中症に
注意！**

〈在籍生徒数〉 一学年249名、二学年216名、三学年246名
 全校生徒数711名
 〈学校住所・電話番号〉
 〒182-0035 府中市四谷一丁目二八二七
 電話 〇四二(三六四)一八八一

★暑くなってきました。
 熱中症に注意しましょう。
 学校ではのぼり旗で注意喚起します。

『憧れの高野先輩』（全校朝会の話）

校長 高汐 康浩

小学校六年生の中盤の頃、いつも不安に思っていたことがあった。昭和五十年代は全国的に中学校が荒れていて、中学生というと、とっても怖いイメージがあった。今とは全然違う。髪型はそり込みを入れたワニの口のように長いリーゼント、服装は長（ちよう）らんにボンタン、ぺったんこの学生かばんを持って、エナメルのピカピカの白い皮靴を履いて集団で周りを威嚇しながら歩いている、そんな中学生がいた。（イラスト参照）小学六年生にとっては、たびたび、そんな中学生たちに出くわした。私は、少しでもそんな中学生がいない学校に進学したかった。でも、私立中学を受験する準備などは全くしていなかった。公立中学校に進学しなければならなかった。

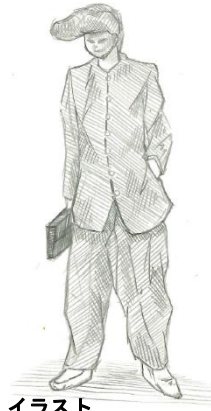


イラスト 美術科 渡邊教諭の作品

府中三中に入学し、先輩の格好や生活の様子を目（ま）のあたりにしてさらに不安がついた。とてもおっかない。睨まれたら終わりだと思いつれ違いざまにはできるだけ目をあわさず、可能な限り距離をとるようにした。でも、そういうわけにはいかない。委員会活動などで先輩と接する機会がある。同年の友達の中には、積極的に、そのおっかない先輩と関わろうとする仲間もいた。どういうつもりか尋ねると、早めに知り合いになつていざというときに守ってもらおうという魂胆（こんたん）だという。当時の府中三中では、毎週水曜日の朝に生徒会主催の全校集会があった。その運営は生徒に任せられていた。生徒会役員がステージに立って千人近い生徒たちを統率する。いつも整列の指示などをして全体をまとめているとても素敵な先輩がいた。高野先輩だ。高野先輩は一学年上級生で生徒会役員だ。なぜ、高野先輩は、あんなおっかない先輩に対しても堂々とした態度でいられるんだろう？とてもおっかない先輩たちでも高野先輩の一声で皆整列をしたり、その指示を聞いて動いたりするのだ。そんな高野先輩は私にとって心の底から憧れる先輩だった。いつも、高野先輩と知り合

いになりたい、関係を深めたいと思っていた私はいろいろと考えた。次の生徒会役員選挙で立候補するか、中央委員会の一員になるか、などなど、中学二年生になり、生徒会役員選挙に立候補することにした。同じクラスの友人からの推薦もあり立候補の届け出をした。しかし、届け出後にとても不安になった。その理由が高野先輩と同じ立場になり、高野先輩からいろいろと教えてもらいながら関係をつくりたいというだけであつたからである。私のようにリーダーの経験がない者が、高野先輩のように統率力を発揮できたのか、荒れた学校のリーダーとして役立つことができるのかなど、届け出をした日の夜は眠れずに朝方まで考え込んでいた。結局、その次の日の朝、担任の福田先生に立候補の辞退をすることを決意したことを伝え、推薦してくれた友人にも謝って辞退をした。

高野先輩は運動会では「三中体操」のとても素敵な模範演技をしていた。三中体操とは三中オリジナルの体操だ。運動会の競技の一つにもなっていた。私は三中体操の学級代表の一人になり、高野先輩の演技を超える体操でアピールしたいと考えた。その結果、私のチームは全校最優秀賞を取った。保健体育科の橘先生からは、体操の演技をとてもほめられた。橘先生からは、なぜ、そんなにやる気が出たのか聞かれた。憧れの高野先輩に少しでも近づきたかったという思いを橘先生に伝えた。

生徒の皆さんには、自分の憧れる人はいるだろうか。今、当時のことを思い出すと憧れの先輩の存在が私の生活のエネルギーやさまざまな意欲の原動力の一部となっていたことが確かであることがいえる。そして、他人と自分との単純な比較ではなく、他人のよいところ、憧れているところに着目をして、自分の中の比較、例えば過去と現在、現在と未来、が大切であることに気付くきっかけになつていたということもある。ずいぶん歳をとった今もあまり変わらずいろいろなことに憧れを抱いている。

当時の三中の運動会での
全校三中花笠街頭



お矢のせ

発見

対話

授業のようす 決定 表現

思春期は、心身ともに大きく成長する時期だからこそ、悩みをもつことがあります。悩みを抱えてしまっているときに、相談できる相談窓口はたくさんありますので、『♡安心♡♡』してください。リーフレット「不安や悩みがあるときは…一人で悩まず、相談しよう」を「相談する」というのは…一人では悩まず、相談しよう」と「TOKYOほっとメッセージチャンネル」を紹介いたしますので、活用してください。下の二次元コードから、またはURLをクリックすることでアクセスできます。



六月二十三日の三年生の音楽（酒井教諭）の授業では、歌唱のテストに向けて仲間との『対話』を通して、積極的にポイントの確認などを分かりやすく伝えるなど『表現』力を発揮していました。合唱コンクールの課題曲の歌唱『表現』については、静かな曲をどのように表現するかということのポイントに、静かなながらも音量を保たなければならぬことを『発見』しました。



活躍する八中生

〔敬称略〕

★バドミントン部★

第72回 東京都中学校第9ブロック 調布・狛江・府中地区 選手権大会
女子ダブルス 優勝 藤田 紗帆・松本 藍組

女子シングルス 第五位 芳賀 梨音・赤堀 琉莉組

男子シングルス 第三位 鈴木 心友里・岡野 柚葉組

男子シングルス 優勝 川合 由芽 芳賀 奏音

★陸上競技部★

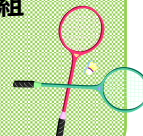
第76回 東京都中学校地域別陸上競技大会

男子東部3年 1000m 第五位 11秒64 島崎 要

男子東部共通 400m 第五位 55秒83 森田 匠歩

女子東部1年 100m 第七位 13秒11 鈴木 輝明

※学校外でのスポーツ活動、文化活動等における生徒の活躍については学校だよりで紹介いたしますので、受賞等があった場合は学級担任にご連絡ください。



<https://www.fuchu-tokyo.ed.jp/fuchu08c/02gaiyou/15108533456459d8e4a01a420230509142348.html>

<https://ijime.metro.tokyo.lg.jp/message/>

学校事故対応コーナー No.6 『国民安全の日』

★連載で、学校での事故の対応についてお知らせしています。今回は避難行動について考えましょう。

★『国民安全の日（七月一日）に避難訓練を考えよう！』

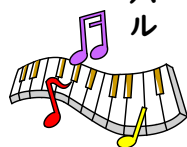
昭和三十五年七月一日を「国民安全の日」と定められました。国民安全の日には、一人一人が日常生活のあらゆる面において、施設や行動の安全について反省を加え、その安全に留意し、これを習慣化する機運を高め、安全を脅かす災害の発生防止を図るための行事などを行うこととされています。（内閣府事務次官依頼）

これを機に、生徒指導部では、これまでの避難訓練のポイントを整理して見直しを行いました。そのコンセプト（一貫する考え方）は、生徒の安全行動の力を高めることと、教職員の安全管理能力と行動力を高めることです。

六月十八日（水）には、見直した訓練計画に基づき、校内での地震発生を想定した避難訓練とあわせて登下校中の避難訓練を実施しました。避難行動は、場所（環境）によって違います。人によっても違います。訓練前には生徒一人一人が登下校の通学路の実地踏査「じつちとうさ」（危険個所の抽出）を行い、訓練当日には、物が「落ちてきそう・倒れきそう・移動してきそう」のキーワードを活用して一人一人が、「適切な避難行動」について考えたり、情報交換を行ったりします。ご家庭でもぜひ話題にしてみてください。



- 七月の主な予定○●
- 二日 道徳授業地区公開講座
- 五日 青少対サマーフェスティバル
- 十二日 生徒会リーダー研修会
- 十八日 一学期終業式
- 二十二日 三者面談
- 七月の生活目標 □
- ・一学期をしっかりと振り返り二学期につなげよう



7月1日は
国民安全の日

